

4 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部 [収容定員 960 名]

(ア) 男女別在籍者数 (平成 30 年 5 月 1 日現在)

性別	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
男	165	144	119	108	536
女	79	84	70	60	293
計	244	228	189	168	829

※休学者の数は在籍者の内数

(イ) 出身地別在籍者数 (平成 30 年 5 月 1 日現在)

出 身 地		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
山形県内	村山	48	51	29	30	158
	最上	22	18	6	9	55
	置賜	40	33	21	27	121
	庄内	53	44	49	50	196
	小計	163	146	105	116	530
山形県外	北海道			2		2
	青森県	4	11	6	2	23
	岩手県	16	17	22	19	74
	秋田県	21	19	29	12	81
	宮城県	6	11	9	9	35
	福島県	17	13	7	6	43
	茨城県			1		1
	栃木県				1	1
	埼玉県	1	1			2
	千葉県	1				1
	東京都		3	1	1	5
	神奈川県	4	2	1	1	8
	新潟県	2	3		1	6
	石川県	1	1	1		3
	長野県	2	1	3		6
	大阪府	1		1		2
	大分県	3				3
	福岡県			1		1
	宮崎県	2				2
	小計	81	82	84	52	299
		244	228	189	168	829

(ウ)退学・除籍・休学の状況（平成 29 年度）（平成 30 年 5 月 1 日現在）

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計		累 計
退学者	7		9		2		4		22		355
除籍者	0		0		0		1		1		30
休学者	前期 0	後期 3	前期 2	後期 3	前期 0	後期 1	前期 3	後期 1	前期 5	後期 8	—

②公益学研究科[収容定員 修士課程 60 名、博士後期課程 12 名]

ア 男女別在籍者数

性別	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
男	3	13	0	1	1	18
女	2	11	0	0	0	13
計	5	24	0	1	1	31

イ 出身地別在籍者数

出身地		修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
山形県内	村山	0	0	0	1	0	1
	最上	0	1	0	0	0	0
	置賜	0	0	0	0	0	0
	庄内	4	16	0	0	0	20
	小計	4	17	0	1	0	22
山形県外	東京	0	0	0	0	1	1
	埼玉	0	0	0	0	0	0
	栃木	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	1	1
国外	中国	0	2	0	0	0	2
	パキスタン	0	4	0	0	0	4
	ラオス	1	1	0	0	0	2
	小計	1	7	0	0	0	8
合計		5	24	0	1	1	31

ウ 退学・休学の状況（平成 29 年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	計
退学者	1	2	3
除籍者	0	0	0
休学者	2	0	2

□カリキュラム(2017年度入学生)

●必修科目 ○選択必修科目

(3) 公益学研究科履修科目

<修士課程>

科目区分	研究領域 および 個別科目名		
基礎科目	公益学総論		
方法論科目	論文作成法 統計学 社会調査論 共創の技法 情報処理論 基幹統計調査論 文化交渉論 英語集中プログラム (EAP) I～IV 国際ビジネスコミュニケーション論		
専門科目	<公共経営研究領域>	<国際ビジネス研究領域>	<地域共創・ソーシャルワーク研究領域>
	公共経営研究 1 (理論経済学)	国際ビジネス研究 1 (組織行動論)	地域共創研究 1 (公共性の社会学)
	公共経営研究 2 (行政法)	国際ビジネス研究 2 (経済分析)	地域共創研究 2 (社会政策論)
	公共経営研究 3 (行政学)	国際ビジネス研究 3 (国際経済論)	地域共創研究 3 (多文化共生・人権論)
	公共経営研究 4 (財政学)	国際ビジネス研究 4 (アジア金融論)	地域共創研究 4 (ソーシャルキャピタル論)
	公共経営研究 5 (公会計論)	国際ビジネス研究 5 (産業組織論)	地域共創研究 5 (地域デザイン論)
	公共経営研究 6 (NPM 論)	国際ビジネス研究 6 (アジア人材マネジメント論)	地域共創研究 6 (NPO・非営利組織論)
	公共経営研究 7 (公共政策論)	国際ビジネス研究 7 (技術管理論)	地域共創研究 7 (ソーシャルビジネス論)
	公共経営研究 8 (自治体政策法務論)	国際ビジネス研究 8 (コーポレートファイナンス論)	地域共創研究 8 (合意形成・コーディネーション論)
	公共経営研究 9 (社会保障論)	国際ビジネス研究 9 (アジア地域経済論)	地域共創研究 9 (スクール (学校) ソーシャルワーク論 a)
	公共経営研究 10 (海外行政研究)	国際ビジネス研究 10 (経営戦略論)	地域共創研究 10 (スクール (学校) ソーシャルワーク論 b)
		国際ビジネス研究 11 (アジアビジネス論)	
		国際ビジネス研究 12 (東南アジアの歴史と文化)	
発展科目	現代政策分析	ビジネスリスクマネジメント論 海外インターンシップ	スクール (学校) ソーシャルワーク演習 スクール (学校) ソーシャルワーク実習指導 スクール (学校) ソーシャルワーク実習
プロジェクト科目	プロジェクト科目 a (都市・農村調査演習) プロジェクト科目 b (庄内地方における内発的地域づくり-自然環境の保全と地域コミュニティの再構築) プロジェクト科目 c (地域課題と建築都市デザイン)		
演習科目	演習 I 演習 II		

<博士後期課程>

科目区分	個別科目名
公益学研究特殊講義	公益学研究特殊講義 a (International Economics and Finance) 公益学研究特殊講義 b (地域活性化) 公益学研究特殊講義 c (森林の歴史と共生) 公益学研究特殊講義 d (都市建築の活用と地域風景の創出) 公益学研究特殊講義 e (自治体マネジメント) 公益学研究特殊講義 f
研究指導科目	研究指導 I 研究指導 II 研究指導 III

(4) F D ・ S D の開催状況

① FD (ファカルティ・ディベロップメント) の開催状況

No.	開催日	内 容	参加人数
1	平成 29 年 5 月 17 日	メディア情報コースについて	20
2	5 月 24 日	2017 年度入試結果報告と 2018 年度入試概要について	20
3	6 月 14 日	アセスメントテストの結果報告	27
4	6 月 21 日	ループリックの作成について	21
5	6 月 30 日	英語で授業を行う方法について	11
6	7 月 12 日	モーションキャプチャとは	25
7	7 月 19 日	ポートフォリオの活用、Wifi 活用	20
8	7 月 19 日	授業外学修時間の確保方法	20
9	9 月 13 日	2017 年度コンプライアンス研修	27
10	9 月 13 日	学生情報共有システムの活用について	6
11	10 月 18 日	院生アンケートを活用した授業改善、大学院教育	23
12	10 月 18 日	インターネット等からの不正引用防止ソフトについて	23
13	11 月 15 日	ポートフォリオの相互閲覧、コーチング	19
14	11 月 15 日	105 分授業の工夫について	19
15	11 月 22 日	GPA の実質化	19

② SD (スタッフ・ディベロップメント) の開催状況

No.	開催日	内 容	参加人数
1	平成 29 年 8 月 7 日	大学の財務、学校法人会計について	33
2	8 月 29 日	キャンパスの国際化に向けた取り組み (東北文教大学・東北公益文科大学 合同 SD)	29
3	9 月 20 日	本学のアセスメントポリシーに基づくアセスメントの結果について	28

(5) インターンシップの実施状況

	業種	企業・団体名	実習生人数
1	官公庁	山形県庄内総合支庁	3
2		山形市役所	1
3		天童市役所	1
4		寒河江市役所	1
5		東根市役所	2
6		村山市役所	1
7		金山町役場	1
8		大蔵村役場	1
9		真室川町役場	1
10		長井市役所	2
11		酒田市役所	7
12		鶴岡市役所	2
13		東北地方整備局酒田港湾事務所	3
14		岩手県庁	1
15		一関市役所	1
16		横手市役所	1
17		仙北市役所	1
18		大仙市役所	1
19		北上市役所	1
20		花巻市役所	2
21		山形県立図書館	2
22		庄内観光コンベンション協会	3
23	金融	SMBC 日興証券株式会社 山形支店	5
24	情報通信	株式会社エフエム山形	2
25		株式会社コミュニティ新聞社	1
26		株式会社ニゴロデザイン	4
27		株式会社日情システムソリューションズ	1
28		株式会社河北新報社	1
29		株式会社ニューメディア	1
30		株式会社データシステム米沢	2
31		株式会社マリーン5 清水屋	1
32	卸・小売	株式会社八文字屋 みずほ八文字屋	1
33		株式会社米沢牛黄木	1
34		酒田天然ガス株式会社	1
35		荘内エネルギー株式会社	1
36		山形パナソニック株式会社	1
37		トヨタカローラ山形株式会社	2
38		オガール企画合同会社	1
39	不動産・建設	株式会社庄内測量設計舎	1
40	製造	精英堂印刷株式会社	1
41		株式会社小松写真印刷	1
42		株式会社共栄	1
43		佐藤繊維株式会社	1
44		丸松物産株式会社	1
45		養護老人ホーム鶴岡市立友江荘	1
46		特定非営利活動法人あらた そよ風クラブ	1

47	社会福祉 法人	医療法人宏友会老人保健施設うらら	1
48		医療法人社団さつき会 老人保健施設明日葉	1
49		特別養護老人ホームこぶし荘	1
50		特別養護老人ホーム永楽苑	1
51		社会福祉法人光風会 特別養護老人ホーム 芙蓉荘	1
52		社会福祉法人村山市社会福祉協議会	1
53		社会福祉法人湯沢市社会福祉協議会	1
54		湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡	1
55		株式会社いわい にこにこプラザひがしやま デイサービスセンター	1
56		株式会社ひまわり	1
57		児童養護施設 七窪思恩園	2
58		学校法人明照学園 浄徳幼稚園	1
59	学校法人天真林昌学園 天真幼稚園	3	
60	サービス その他	株式会社タマツ	1
61		株式会社秋田キャッスルホテル	1
62		株式会社プレステージ・インターナショナル	5
63		株式会社雅裳苑ベルナール酒田	3
64		アーバン株式会社 ゲストハウス気仙沼 アーバン	1
65		株式会社庄交コーポレーション航空事業部	2
66		株式会社日本旅行東北山形支店	2
67		株式会社近畿日本ツーリスト東北酒田営業所	2
68		Blue Heart	1
69		東根市商工会	1
70		公益財団法人 山形県国際交流協会	2
71		公益財団法人 秋田県国際交流協会	1
72		公益財団法人 出羽庄内国際交流財団	1
73		株式会社モンテディオ山形	1
74		秋田ノーザンハピネッツ株式会社	1
75		認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭	1
76		由利高原鉄道株式会社	1
77		社長インターン シップ	近賢織物有限会社
78	株式会社亀や		1
79	山形県庄内総合支庁		1
80	株式会社ブルー		2
81	酒田第一タクシー株式会社		1
82	精英堂印刷株式会社		1
83	酒田米菓株式会社		1
84	加藤総業株式会社		1
85	秋山鉄工株式会社		1
86	特定非営利活動法人 元気王国		1
87	株式会社 HAPPY GATE		1
88	ヤマリョー株式会社		1
合計			129

(6) オフィスアワーの実施状況

平成29年度春学期オフィスアワー日程

[illegible]

平成29年度秋学期オフィスアワー日程

[illegible]

(7) 研究実績報告

氏 名	神 田 直 弥
職位・系・コース	教授・交流文化系・メディア情報コース（兼経営コース）

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同 発表の場合は論文 等に記載した順に 本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	シリーズ心理学と 仕事 18 交通心理 学(担当箇所: 運 転技能の習得)	北大路書房	79-86	2017	太田信夫監修 松浦常夫編集
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	レインコートの着 用が自転車運転時 における確認行動 に及ぼす影響	東北公益文科大学 総合研究論集	Vol. 33, 15-34	2017	神田直弥
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	朝起きてから夜寝 るまでの交通心理 学ー日々の暮らし と交通心理学ー	日本交通心理士 会第14回札幌大 会(シンポジウ ム)		2017	神田直弥

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
・日本交通心理学会 会員
・日本人間工学会 会員
・日本心理学会 会員
・日本プラントヒューマンファクター学会 会員
・Human Factors and Ergonomics Society Full Member

・ 日本交通科学学会 会員 ・ 航空運航システム研究会 会員
②各種学会における活動状況 日本交通心理学会編集委員（平成 26 年～） 日本交通心理学会運営委員（平成 29 年～）
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：非採択	円
受託 研究 関係	件 数 0 件	契約先名	契約金額
			円
			円
受託 事業 関係	件 数 0 件	契約先名	契約金額
			円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数 0 件	契約先名	契約金額
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 地域課題基礎研究費「高齢ドライバーの免許返納と公共交通利用促進に関する基礎調査」 酒田市地域公共交通網形成計画に基づく、大学と連携した地域公共交通のサービス検討

研究実績報告書

氏 名	伊藤 眞知子
職位・系・コース	教授・研究科長・交流文化系・観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年	発表者名
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	自治体における女性管理職の登用と育成に関する研究	第4回地域課題解決全国フォーラム in 庄内		2017（平成29）年11月3日	伊藤眞知子、矢作めぐみ

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本社会学会、日本家族社会学会、日本社会教育学会、日本公益学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	
	有 ・ 無	種別：	採択金額 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市	139,000 円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円

その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・平成 29 年度地域課題基礎研究「自治体における女性管理職の登用と育成に関する研究」(15 万円、研究代表者：伊藤真知子) ・平成 29 年度大学まちづくり地域政策形成事業調査研究委託「酒田市における女性活躍推進のための基礎調査研究」(13 万 9 千円、研究代表者：伊藤真知子)

氏 名	遠 山 茂 樹
職位・系・コース	教授、リベラルアーツ

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名 (共同発表の場 合は論文等に記載した順に 本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書 (翻訳含む) 及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	パークの中世的効 用ーウッドストッ ク・パークを事例 としてー	東北公益文科大学 総合研究論集	第 33 号	2017 年、12 月	遠山茂樹
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須) 史学会、日本西洋史学会、社会経済史学会、駿台史学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況		採択金額
	有 ・ 無	種別：		円
受託 研究 関係	件 数	契約先名		契約金額
	件			円
				円
受託	件 数	契約先名		契約金額

事業 関係	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の申 請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究 東北公益文科大学「地（知）の拠点」整備事業

氏 名	温 井 亨
職位・系・コース	交流文化系観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	名勝における眺望 と風景計画	日本造園学会風 景計画研究推進 委員会「風景計画 研究」	Vol. 2 、 P2-3	2017 年	温井 亨
	歴史的環境の保全	日本都市計画学 会東北支部 5 周 年事業山形市の 都市計画史	4 ページ	未刊	温井 亨
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1		「近代の産業遺産の 保存と活用に関する 研究－歴史的価値の 保存と多様で魅力的 な活用」2017 年度学 術研究会（国際ワー クショップ）		2018. 2. 22 京都府立大 学	温井 亨
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	茅葺民家の保存、 継承－出羽の国の 事例から－	日本民俗建築学 会公開シンポジ ウム	シンポジ ウム資料 P4-12	2017. 10. 21 秋田県羽後 町	温井 亨

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）	日本造園学会、日本建築学会、日本都市計画学会、地中海学会、和食文化学会
②各種学会における活動状況	日本造園学会東北支部長、同東北支部大会開催、ランドスケープ遺産インベントリー委員、風景計画研究委員会委員、風景計画ミニフォーラムで発表（全国大会）。和食文化学会設立（発起人、理事）。同学会中心に行っている修験と食研究に協力。
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

3－4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内・地域デザイン研究所 研究所員

氏 名	澤 邊 み さ 子
職位・系・コース	教授・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	提言「地域にお ける公益社会の実現 を目指して」	社会教育	No. 850 (28-29)	2017 年（平 成 29 年）4 月	
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	山形県酒田市飛島 における地区防災 策定のための基礎 研究（平成 28 年度 地域課題基盤研究 最終報告）	2017 地域課題解 決全国フォーラ ム		2017（平成 29 年）年 11 月 3 日	

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 社会政策学会、日本職業リハビリテーション学会、日本ニュージーランド学会 日本公益学会、日本社会福祉学会、北ヨーロッパ学会
②各種学会における活動状況 日本ニュージーランド学会 監事（2010年4月～） 日本公益学会 理事（2012 年 4 月～）
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ ☐ 無 ☒	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・酒田市日向地区における親子防災キャンプの実施—地域コミュニティにおける「防災」の仕組みづくり—(COCアクションプロジェクトおよびプロジェクト型応用演習(春学期)) ・酒田市日向地区における水路地図作成のための調査・地図作成(プロジェクト型応用演習(秋学期)) ・酒田市飛島における地区防災計画策定のための基礎研究及び調査活動(プロジェクト型応用演習(春学期)) ・酒田市宮浦学区における認知症に関する住民及び事業所の意識調査活動(地域福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) ・小学生を対象とした「公益を考える事業」の企画・実践(COC庄内カレッジ事業、及び応用型プロジェクト演習) (以上、すべて東北公益文科大学教員との共同研究・活動)

氏 名	阿 部 公 一
職位・系・コース	教授・地域経営系・政策

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
③学会誌等					
査読有り学術論文等					
査読無し学術論文等					
1	国民年金の加入手 続き等に関する年 金教育と情報発信	『日本年金学会 誌』日本年金学会	第 36 号、 A4 版、 44-53 頁	2017（平成 29）年 4 月	単著
④紀要等					
⑤総説・解説等					
⑥国際会議発表論文等					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本年金学会、日本公民教育学会、経済教育ネットワーク、他。
②各種学会における活動状況
第 2 回ユース年金学会（日本年金学会が主催母体）に、阿部ゼミチームを指導し発表を行った。関係方面から、高い評価を頂いた。
③学会賞等の受賞状況
平成 30 年度日教弘本部奨励金助成の贈呈式（2018 年 3 月 15 日）に出席する予定である。

3. 研究資金獲得状況

科研費	申請の有無	採択状況	採択金額
関係	①有 ・ 無	種別：	円
受託	件 数	契約先名	契約金額

研究 関係	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1	公益財団法人日本教育公務 員弘済会	75 万円 贈呈式は本年度だか、振込み は 4 月を予定とのこと。
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市国民健康保険運営協議会委員として、酒田市の国民健康保険のあり方や国保行政の課題について、取り組んでいる。

氏 名	呉 衛 峰
職位・系・コース	教授・交流文化系・国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	中国語による二行 俳句の可能性 ――Facebook に おける実験を通じ て	中国日本文学研 究会		2018年 8月に発行 予定	
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須） 日本比較文学会2017年度年会（山形大学）でコメンテーター担当。
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無		
	有	種別：B 評価	円
受託 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		
			円

関係			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	呉 尚 浩
職位・系・コース	交流文化系 観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「ジオパークを活用した持続可能な地域社会への貢献に関する研究」	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会委託研究報告書	2018 年 3 月報告予定		
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「山形県酒田市飛島における地区防災計画策定のための基礎研究」	地域課題解決全国フォーラム in 庄内 2017			澤 邊 み さ 子 (発表者)・呉 尚 浩・伊藤眞 知子・小関久 恵・岸本誠司

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等（必須）
日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会 地区防災計画学会 庄内社会基盤技術フォーラム（土木学会認定CPDプログラム）
②各種学会における活動状況
COC地域課題解決全国フォーラム in 庄内（2017年12月）にて報告（発表者は澤邊みさ子教授） 庄内社会基盤技術フォーラム（2018 年 1 月）に参加、講演会司会 日本海岸林学会参加（浜松大会、2017 年 11 月参加） 地区防災計画学会参加（第3回大会、京都大学・宇治キャンパス2018年3月開催、参加予定）
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ ☐ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会（とびしま未来研究所として公益大で受託）「ジオパークを活用した持続可能な地域社会への貢献に関する研究」	200,000円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市（とびしま未来協議会として受託、公益大外）「飛島地域資源再発見事業」	500,000円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ※ 研究業績参照。

氏 名	松 田 憲
職位・系・コース	教授・交流文化系・国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名 (共同発表 の場合は論文等に記 載した順に本人も含 め記入)
①博士論文					
1					
②著書 (翻訳含む) 及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須) ・ 日本比較文化学会 ・ 大学英語教育学会 ・ 全国語学教育学会 ・ 外国語教育メディア学会 ・ Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association
②各種学会における活動状況 所属学会の研究発表大会にできるだけ参加して最新の知見に触れた。
③学会賞等の受賞状況 特になし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ ☒ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市（グローバル・セミナー：国際教養コース主催）	250,000 円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の申 請・取得	(申請・取得内容) 特になし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし

氏 名	古 山 隆
職位・系・コース	教授・エネルギー特別専攻

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	最新 材料の再資 源化技術辞典 第4章 自動車関 連部品 第1節 車体 1.2 金属 回収	株式会社産業技 術サービスセン ター	p. 433-437	2017年8月 （平成 29 年8月）	古山隆、榎藤 正信
2	最新 材料の再資 源化技術辞典 第4章 自動車関 連部品 第6節 ASR 関連	株式会社産業技 術サービスセン ター	p. 475-479	2017年8月 （平成 29 年8月）	古山隆
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	19 世紀に生産さ れた鉄道レールに ついての考察（そ の7）	資源・素材学会& EARTH2017（札幌）		2017年9月 26日 （平成 29 年9月26 日）	大石徹、古山 隆

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須)
環境資源工学会、資源素材学会、自動車技術会リサイクル技術部門委員会
②各種学会における活動状況
環境資源工学会
環境資源工学会シンポジウム「リサイクル設計と分離精製技術」
第34回：持続可能なプラスチックリサイクルにむけて
実行委員長
自動車技術会リサイクル技術部門委員会
委員長
③学会賞等の受賞状況
なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：基盤研究（C） 結果：不採択	0 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内地域の小学生を対象とした科学体験教室「身近なもので電気をつくろう！」を実施（4回）

氏 名	武 田 真 理 子
職位・系・コース	地域経営系 地域福祉コース 教授

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「地域人材育成の社会的認証システムの考察－山形県庄内地域における『地域共創コーディネーター養成プログラム』の分析を中心に－」	『東北公益文科大学総合研究論集』	第32号、pp. 9-25	2017年7月	武田真理子
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	報告1「学士課程における公益学教育」（分科会Ⅰ「公益学教育の現状と課題－東北公益文科大学の事例から」）	2017年度日本公益学会研究大会	明治大学駿河台校舎リパティタワー10階会議室	2017年10月28日	武田真理子
2	「地域の支え合いについて今一度考えてみませんか」「自分たちの地域の支え合いを考える」	平成29年度新庄市平成29年度地域リーダー講座「話し合おう！地域の支え合い」	新庄市民プラザ	2017年6月23日、6月30日	武田真理子
3	「災害時の地域福祉について考える」	平成29年度酒田市民生委員児童委員協議会高齢者福祉部会研修会	酒田市公益研修センター中研修室1	2017年9月14日	武田真理子

4	「福祉まちづくりの視点から考える地域づくりのポイント」	つるおかみらいフォーラム～住み続けたい地域づくりのために“いま”からできること～	出羽庄内国際村大ホール	2017年9月15日	武田真理子
5	「少子高齢社会における働き方、家族の変化と福祉まちづくり」	泉学区社会福祉協議会 創立 30 周年 記念講演会	泉学区コミュニティ防災センター	2017 年 11 月 18 日	武田真理子
6	「朝日の地域づくりを考える～ともに生き 互いに支えあう地域 朝日～」	地域づくり研修会 2017「あさひの夢をかたろう会」	鶴岡市朝日中央コミュニティセンター	2017 年 11 月 25 日	武田真理子
7	「地域の担い手の育成・確保について考える」	山形県最上総合支庁 平成 29 年度 区長協議会等役員研修会	最上総合支庁	2017 年 11 月 24 日	武田真理子
8	庄内地域の家庭環境の実態について～『酒田市における家庭教育支援に関する調査』結果報告を中心に～	山形県庄内教育事務所 平成 29 年度 学校・家庭・地域の協働連携推進事業 第 1 回家庭教育支援フォーラム	庄内町響ホール	2017 年 11 月 30 日	武田真理子
9	「共に生き互いに支えあう地域をつくる」	上本郷資源保全会研修会	上本郷公民館	2017 年 12 月 10 日	武田真理子
10	「地域における対話の場づくり」	朝日中央地区自治振興会「役員」「部員」「職員」合同研修会	朝日中央コミュニティセンター	2017 年 2 月 14 日、2 月 19 日	武田真理子
11	「『共生社会』におけるコミュニティの役割」	鶴岡市コミュニティ組織協議会 冬季研修会	鶴岡市第二学区コミュニティ防災センター	2018 年 3 月 2 日	武田真理子
12	「『共生社会』における学区・地区社協力の役割」	鶴岡市学区・地区社協協力役員等研修会	鶴岡市総合保健福祉センター 大会議室	2018 年 3 月 5 日	武田真理子
13	「地域のささえあいから広がる共生社会」	第 10 回鶴岡・田川高齢者集会	東北公益文科大学大学院ホール	2018 年 3 月 17 日	武田真理子

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本ニュージーランド学会(理事)、社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会

②各種学会における活動状況

日本ニュージーランド学会における理事業務、及び 2017 年 6 月 17 日の日本ニュージーランド学会第 24 回研究大会・総会並びに「酒田市 2020 年東京オリンピック・パラリンピック・ニュージーランド・トライアスロンチーム ホストタウン登録記念シンポジウム～ニュージーランドと日本のスポーツ交流の過去・現在・未来～」の開催校としての準備・運営。日本公益学会における発表など。

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鶴岡市「地域共創コーディネーター養成プログラム構築事業」	1, 000, 000 円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市市長公室よりニュージーランド研究所に依頼のあった政策提言書「これまでのニュージーランド研究からの酒田市の市民活動及び政策への提言」提出への謝礼（2017 年 10 月）	50, 000 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 東北公益文科大学ニュージーランド研究所所長として、酒田市オリンピック・パラリンピック・ホストタウン推進協議会への参画、ニュージーランド・トライアスロンチーム・ナショナルコーチ等の視察受け入れ、駐日ニュージーランド大使の招聘講演を含む公開シンポジウムの開催、平成 30 年度酒田市事業計画への反映を前提とした「これまでのニュージーランド研究からの酒田市の市民活動及び政策への提言」の執筆及びとりまとめ、研究会の開催、酒田市市民向けの「Get to Know New Zealand」連続講座の第 1 回から第 5 回の企画・開催及び講師など、酒田市のニュージーランドとの交流及び国際化の推進に貢献をした。平成 30 年度もニュージーランド研究所の研究員及び関係者とともに継続的、発展的にニュージーランド研究の地域への還元と人材育成に取り組む。

氏 名	竹 原 幸 太
職位・系・コース	准教授・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	①失敗してもいい んだよー子ども文 化と少年司法	本の泉社	159 頁	2017 年 5 月	
	②教育と修復的正 義ー学校における 修復的实践へ	成文堂	145 頁(予 定)	2018 年 3 月 発行予定	
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	書評 倉持史朗著 『監獄のなかの子 どもたちー児童福 祉史としての特別 幼年監, 感化教育, そして「携帯乳 児」』(六花出版, 2016)	日本社会福祉学 会『社会福祉学』	189-191 頁	2017 年 11 月	厳密には査読 論文ではない が、同学会編 集委員会より、 同書の評者として依頼 有
査読無し学術論文等					
1	運動部活動で求め られる自治的な問 題解決の方法と は？ー修復的实践 から学ぶ	コーチングクリ ニック、2018 年 3 月号(ベースボー ルマガジン社)	74-77 頁	2018 年 1 月	連載これから 「運動部活 動」の授業を します！ー私 の専門分野か らのエール第 12 回、宮城教 育大学神谷拓 准教授による 監修
④紀要等					
1	「地域とともに(共) にある学校づく り」とアクティ ブ・ラーニングー 奈良県県立高校・ 特別支援学校にお けるとりくみを通	早稲田教育学研 究 (8)	65-83 頁	2017 年 3 月	増山均・阿比 留久美・齋藤 史夫・竹原幸 太・山田恵 子・王聡

	じて				
⑤総説・解説等					
1	書評 増山均他編 『ファンタジーと アニマシオンー古 田足日「子どもと 文化」の継承と発 展』	月刊子どもの文 化	38－41 頁	2017 年 3 月	
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1	2000 年代の青少年 政策の課題と修復 的実践の教育的意 義	第 13 回 RJ 全国交 流会 (於早稲田大 学) 2017 年 6 月 10 日			増山均・竹原 幸太・山田恵 子
2	鈴木道太研究 (1) ー人と業績、児童 福祉分野への注目	日本教育学会 76 回大会 (於桜美林 大学) 2017 年 8 月 27 日			
3	学校における修復 的実践の意義と課 題 (招待)	第 44 回日本犯罪 社会学会シンポ ジウム 学校は逸 脱・非行にどうか かわるか (於國學 院大學) 2017 年 9 月 2 日			
4	戦中期少年保護実 践の変質に関する 研究ー少年院を中 心として (科研費 研究)	日本社会福祉学 会第 65 回秋季大 会 (於首都大学東 京) 2017 年 10 月 22 日			
5	<民間団体講演> 近時の立法動向に 見る成年後見人制 度をめぐる諸課題 と展望 (招待)	庄内余目病院生 命倫理研修 (於庄 内 余 目 病 院) 2017 年 3 月 8 日			
6	学校・家庭・地域 をつなぎ、地域を 活性化するために 一子どもが育つ地 域社会の視点から (招待)	平成 29 年度社会 教育主事有資格 教員等研修会 (於 大地会館) 2017 年 7 月 28 日			
7	地域で守る子ども の権利ー子どもの 権利を考える上で 基盤となる子ども の権利条約を学ば う (招待)	第一回 CAP カフ ェ (平成 28 年度 共同募金地域福 祉・在宅福祉事 業、於東北公益文 科大学) 2017 年 9 月 9 日			
8	児童虐待をめぐる 他職種連携の要請 について (招待)	日本海総合病院 児童虐待防止委 員会研修 2017			

9	児童虐待と非行の連鎖を断ち切る支援の視点（招待）	年 11 月 20 日 平成 29 年度庄内地域児童虐待防止研修会 2017 年 12 月 1 日			
---	--------------------------	--	--	--	--

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本教育学会、日本社会教育学会、日本教育法学会、日本社会福祉学会、日本司法福祉学会、社会事業史学会、日本犯罪社会学会、日本子ども虐待防止学会
②各種学会における活動状況
日本社会福祉学会より書評依頼（2017 年 2 月）、同学会で報告（同年 10 月）、日本犯罪社会学会編集委員（第 16 期）に就任、日本社会教育学会紀要（53 巻 2 号、2017 年 10 月）にて、拙著『菊池俊諦の児童保護・児童福祉思想に関する研究』が掲載（評者：和歌山大学山崎由可里教授）、同学会誌で次号にて拙著『失敗してもいいんだよ』の書評掲載が決定（2018 年 1 月、評者：中島宏鹿児島大学教授、予定）
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	○有 ・ 無	種別：基盤C 戦前少年院実践における少年保護思想に関する研究	60 万 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	ジハン、シャザダナイヤール
職位・系・コース	教授、公益大学、アジア人材養成

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Calamity Driven Environmental Investment － A Case of Fukushima Nuclear Disaster	International Conference on Science, Innovation and Management (ICSIM) Prague, Czech Republic		21st-22nd January, 2018	Jehan
2	Strategic Model of Innovative Venture Incubation via Alternative Financing	International Conference on Science, Innovation and Management (ICSIM) Hanoi, Vietnam	BEST PAPER AWARD	25th-26th July, 2017	Jehan
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	Keynote Speaker - Blue Ocean Strategy	CBIBM 2017, Conference, Lahore, Pakistan		12th – 13th December, 2017	Jehan

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等（必須）	IEEE、IEER、AAA、日本経営システム学会、実践経営学会等
②各種学会における活動状況	Referee, Advisor, Member Etc.
③学会賞等の受賞状況	Best Paper Award, Hanoi Conference. 2017

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☒ 有　・ ☐ 無	種別：申請中 平成 30 年度科研費申請	円
受託	件 数	契約先名	契約金額

研究 関係	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	三 木 潤 一
職位・系・コース	准教授 地域経営系 経営コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名 (共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記 入)
①博士論文					
1	博士学位取得済み				
②著書 (翻訳含む) 及び辞書等					
1	新規で記載すべき 事項なし				
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	"Contracting-Out of Household Waste Collection Services in Japan"	The Singapore Economic Review	Vol.62, No.4, pp.1-13.	Published: 19 May 2017 (平成 29 年) (accept 時の H28 教員業績 調書では評価対象 外とされた。雑誌 発行により本調書 に記載するもので ある。)	Norimichi Matsueda and Jun'ichi Miki
査読無し学術論文等					
1	新規で記載すべき 事項なし				
④紀要等					
1	「地方公共団体に おける行財政健全 化に向けた事務事 業評価指標の検討」	平成 29 年度大 学まちづくり 地域政策形成 事業報告書 (酒田市)		2018 (平成 30) 年 3 月	三木潤一・松 尾慎太郎・小 嶋健太・川崎 雄二郎
⑤総説・解説等					
1	記載すべき事項な し				
⑥国際会議発表論文等					
1	新規で記載すべき 事項なし				
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1	「地域包括ケアシ ステムによる医	日本医療マネ ジメント学会	第 14 回	2017 (平成 29) 年 7 月 15 日	三木潤一・入 江啓彰・齋藤

	療・介護費用の抑制 ーマクロ計量モデル による経済分析 ー」	山形県支部学 術集会（庄内 産業振興セン ター）			建児
--	---	-----------------------------------	--	--	----

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会
②各種学会における活動状況
依頼により、日本医療マネジメント学会第 14 回山形県支部学術集会（庄内産業振興センター）において報告等を行う。
③学会賞等の受賞状況
記載すべき事項なし

3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
科研費 関係	①有 ・ 無	種別：平成 30 年度（2018 年度）基盤研究（C）（一般）に申請中	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市	388,000 円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 記載すべき事項なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市の平成 29 年度大学まちづくり地域政策形成事業における受託研究「地方公共団体における行財政健全化に向けた事務事業評価指標の検討」に研究代表者として取り組み、平成 30 年度も継続の予定である。

氏 名	渡 辺 暁 雄
職位・系・コース	准教授・交流文化系・観光・まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	「民衆文化」論の展開と 「生活」概念の登場―― 大正期における権田保之 助の言説を中心に	社会文化学会	第20回全 国大会	2017 年 12 月 17 日	渡辺暁雄

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 日本社会学会，社会文化学会，日本生活学会，日本公益学会
②各種学会における活動状況 大会参加
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託	件 数	契約先名	契約金額

事業 関係	1 件	鶴岡市加茂地区自治振興会	300, 000 円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 鶴岡市加茂地区交流人口拡大に関する活動

氏 名	広 瀬 雄 二
職位・系・コース	准教授 情報特別選抜

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名 (共同 発表の場合は論文 等に記載した順に 本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書 (翻訳含む) 及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	超小型 SNS「s4」に よる教育用情報シ ステム導入過程の 効率化	東北公益文科大 学	第 33 号・p35- 55	平成 29 年 (2017 年)	広瀬雄二
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須)
情報処理学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別： 未定（基盤 C 申請 中)	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市情報管理課 (2 年)	1, 200, 000 円
			円

受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	松 山 薫
職位・系・コース	准教授 交流文化系 観光まちづくりコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	地方における「日輪兵舎」の建造過程－山形県・鳥海農民道場の事例を中心として－	東北地理学会春季学術大会（仙台） 要旨：『季刊地理学』掲載	69-3, 169	2017（平成29）年	松山 薫
2	日輪兵舎の保存に関する研究	第4回地域課題解決全国フォーラム in 庄内（酒田） 要旨：『第4回地域課題解決全国フォーラム in 庄内記録集』掲載	印刷中	2017（平成29）年	松山 薫・山口泰史

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
日本地理学会，人文地理学会，歴史地理学会，経済地理学会，東京地学協会，東北地理学会，お茶の水地理学会，軍事史学会，日本アイルランド協会，日独協会，日本地図学会，日本観光研究学会，山形県地域史研究協議会

②各種学会における活動状況

2018 年人文地理学会特別例会会場校責任者

歴史地理学会役員（庶務運営委員）

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☐ 有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 本学 COC 事業 平成 29 年度 地域課題基礎研究費（プロジェクト型）「現 存する日輪兵舎「日輪講堂」の保存に向けた具体的方策に関する研究」 （松山 薫・山口泰史）採択

氏 名	萩 原 茂 樹
職位・系・コース	准教授・交流文科系・メディア情報コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発 行 西暦年 （元号併 記）	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記 入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Towards Improvements of Bounded Realizability Checking	Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP 2017)	Preproceedings 電子配布、全 11 ページ。 Postproceedings は World scientific より 出版予定	2017 年 9 月	Masaya Shimakawa, Shigeki Hagihara and Naoki Yonezaki
2	Efficiency of the Strong Satisfiability Checking Procedure for Reactive System Specifications	International Conference on Computer, Electronic Engineering and Information Science (CEEIS 2017)		2017 年 12 月	Masaya Shimakawa, Shigeki Hagihara and Naoki Yonezaki

⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会
②各種学会における活動状況
・電子情報通信学会情報システムソサイエティソフトウェアサイエンス研究会専門委員 ・日本ソフトウェア科学会ソフトウェア工学研究会第24回ソフトウェア工学の基礎ワークショッププログラム委員
③学会賞等の受賞状況
該当なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無✓	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 該当なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 該当なし

氏 名	齊 藤 徹 史
職位・系・コース	准教授 地域経営系 政策コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	①「予定価格の事前公表と事後公表」、②「競争入札への参加資格をめぐる争い」、③「政策目的による入札制度の活用の可否」	『地方財務判例 質疑応答集』（ぎ ょうせい）	加除式 ① 3981-3995 頁、② 3996-4011 頁、③ 4249-4343 頁	2018 年（平 成 30 年）	編者：日本財 政法学会 （左記①②③ を担当し、執 筆は単著） （執筆内容は 学会で確認）
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	「PFI 法と行政 法」	『法学』（東北大 学法学会）	81 巻 6 号 739－763 頁	2018 年（平 成 30 年）	単著
査読無し学術論文等					
1	「入札を使った地 域課題の解決への 展望」	『地方財務』（ぎ ょうせい）	763 号 40 －45 頁	2018 年（平 成 30 年）	単著
④紀要等					
1	「自治体の入札制 度の歴史と公契約 条例」（講演録）	『北海道自治研 究』（北海道地方 自治研究所）	3 月号 （近刊）	2018 年（平 成 30 年）	単著
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	招待講演「自治体 の入札制度の歴史 と公契約条例」	連合北海道		2017 年（平 成 29 年）11 月	単独
2	研究会（学会）報 告「地域課題の解 決に向けた政策法 務における人材育 成方法の研究」	第 4 回地域課題解 決全国フォーラ ム in 庄内		2017 年（平 成 29 年）11 月	単独
3	研究会報告「行政 契約と入札改革の 動向」	（公財）地方自治 総合研究所 格 差是正と地方自 治研究会		2017 年（平 成 29 年）12 月	単独

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等 (必須) 日本公法学会 日本財政法学会 日本経済法学会 日本高等教育学会 日本地域学会 自治体学会 東北大学公法判例研究会 東北大学経済法研究会
② 各種学会における活動状況 上記学会・研究会に積極的に参加。
③ 学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	⑦ 有 ・ 無	種別：基盤（C）	0 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	2 件	荘内銀行ふると創造基金	100, 000 円
		にかほ市提案公募型による学生等の公益活動支援事業補助金	200, 000 円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 公共施設や行政サービスに関する研究会やワークショップを酒田市やにかほ市で開催し、学生、行政、銀行など民間企業との連携を促進するための活動を実践した。 学生に公務員の仕事に触れさせることで、公務員志望者のモチベーションを向上させることを目指して取り組んだ。 酒田市で職員の政策法務能力向上のための研修を行った。

氏 名	西 村 ま ど か
職位・系・コース	准教授 情報

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名 (共同 発表の場合は論文 等に記載した順に 本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書 (翻訳含む) 及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等 (招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須)
日本物理学会
②各種学会における活動状況
会員
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 3D プリンタを用いた点字板開発 地の拠点事業による助成 (150 千円) サーバを構築し、3D データの配布までが可能となった。

氏 名	鎌 田 剛
職位・系・コース	准教授・地域経営系・地域福祉

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「やまがた多職種 連携学生ネットワ ークー 異分野の 学生も巻き込んだ 3年間のふりかえ り」	第 19 回日本医療 マネジメント学 会学術総会（仙台 国際センター）		2017 年 7 月 8 日	鎌田剛
	「連携リーダーリ ップの 5 つの要 件」	第 19 回日本医療 マネジメント学 会学術総会（仙台 国際センター）		2017 年 7 月 8 日	鎌田剛

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等（必須） 日本医療マネジメント学会
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☒ 有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	2 件	酒田市大学まちづくり政策 形成事業	円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件	山形県在宅医療推進事業	500,000 円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	小 野 英 一
職位・系・コース	准教授・地域経営系・政策コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	コワーキングスペースに関するプラットフォーム論からの一考察－コワーキングスペース UNDERBAR を事例として－	日本地域政策学会	第 19 号	2017 年（平成 29 年）	小野英一
2	「公益」を活かした新たな観光：「公益観光」の動向と課題－山形県酒田市の取組事例を中心に－	日本地域政策学会	第 20 号	2018 年（平成 30 年） （刊行予定 掲載決定）	小野英一
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	国と自治体の人事交流に関する一考察－総務省調査「国と地方公共団体との間の人事交流状況」のデータをもとに－	東北公益文科大学総合研究論集	第 32 号	2017 年（平成 29 年）	小野英一
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	公務員人事システムの総合的分析について－多変量解析を用いた分析事例を中心に－	2017 年度日本行政学会研究会		2017 年（平成 29 年）	小野英一
2	山形県庄内総合支	第 31 回自治体学		2017 年（平	小野英一

	庁における「ベストおもてなし課」総選挙の取り組み	会山梨甲府大会		成 29 年)	
3	東北公益文科大学大学院における公益学教育	2017 年日本公益学会研究大会		2017 年 (平成 29 年)	小野英一
4	自治体における人事システム改革と公務員倫理	新しい公務員倫理を考える研究会 (大学研究者、人事院職員を中心とした研究会) 第 4 回研究会		2017 年 (平成 29 年)	小野英一

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須) 自治体学会、地域活性学会、日本行政学会、日本公益学会、日本公共政策学会 日本地域政策学会、非営利法人研究学会
②各種学会における活動状況 ・ 日本行政学会：全国研究大会にて研究発表 ・ 自治体学会：全国研究大会にて研究発表 ・ 日本公益学会：秋季研究大会にて研究発表
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☒ 有 ・ 無	種別：若手研究 B	0 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	Sultonov Mirzosaid
職位・系・コース	准教授、交流文科系、国際教養コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	The impact of falling crude oil price on financial markets of advanced East Asian countries	Journal of Reviews on Global Economics	vol. 37 (7), pp. 10-20	2018	Sultonov M.
2	The Impacts of the Oil Price Fall on the Exchange Rates of ASEAN-5: Evidence from the 2014 Oil Price Shock	Economics Bulletin	vol. 37 (1), pp. 468-479	2017	Sultonov M.
3	Remittances, bilateral trade and linkage between foreign exchange markets: evidence from the commonwealth of independent states (CIS)	The International Journal of Economic Policy Studies	Vol. 12	2017	Sultonov M.

査読無し学術論文等					
1	The causality relationship among foreign exchange markets: Evidence from selected ASEAN countries	Tohoku Koeki Bunka Daigaku, Sougo Kenkyu Ronshu	vol. 32, pp. 1-8	2017	Sultonov M.
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	An Empirical Analysis of Japanese Stock and Foreign Exchange Markets' Responses to "Brexit" and "Trump Shock",	The International Conference on Japan and Japan Studies, IICJ 2017	IICJ 2017, Kobe	June, 2017	Sultonov M.
2	Transition, Migration, Remittances and Responses to External Shocks: Evidence from Tajikistan and the Kyrgyz Republic	Second World Congress of Comparative Economics, 2nd WCCE	2nd WCCE, St. Petersburg,	June, 2017.	Sultonov M.
3	The Impact of Crude Oil Price Fall on Financial Markets of Advanced East Asian Countries: Evidence from	The 16th International Conference of the Japan Economic Policy Association, JEPA 2017	JEPA 2017, Okinawa	November, 2017	Sultonov M.

	MGARCH-DCC and CCF Approaches				
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 比較経済体制学会(member); Japan Economic Policy Association(member); Social Indicators Research(referee); Applied Economics(referee); Journal of Reviews on Global Economics(referee)
②各種学会における活動状況 Conference organization committee member (JEPA2017), presenter, discussant and referee works
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	山 本 裕 樹
職位・系・コース	講師・情報メディアコース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	東北公益文科大学 における GPA の分 析 I	東北公益文科大 学総合研究論集	第 32 号 pp. 57-68	2017 年 (H29 年)	山本裕樹
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	Applications of Internet Telescope in Astronomical Education	2017 Asia-Pacific Regional IAU Meeting (台湾台北市)		2017 年 (H29 年)	Yuki Yamamoto, Haruhiko Ueda, Kenetsu Narita, Kouichi Toda, Hiroshi Yoshida, Seiji Sakoda, Minoru Omote
2	Production of lunar camera and the observation of the moon	2017 Asia-Pacific Regional IAU Meeting (台湾台北市)		2017 年 (H29 年)	Haruhiko Ueda, Kenetsu Narita, Yuki Yamamoto, Minoru Omote, Seiji Sakoda, Hiroshi Yoshida, Kouichi Toda
3	山形県立鶴岡南高 校での観測－系外 惑星の観測－	第 7 回慶應義塾大 学インターネット 望遠鏡ネットワー クシンポジウム (慶應義塾大学)		2017 年 (H29 年)	山本裕樹

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須)
日本物理学会
②各種学会における活動状況
特になし
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費	申請の有無	採択状況	採択金額
関係	無	種別：基盤研究 C (分担 2 件)	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	白 旗 希 実 子
職位・系・コース	講師・地域経営系・政策コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要					
1	英国の児童福祉実 践における専門職 間連携の課題	東北公益文科大 学総合研究論集	第 32 号、 pp. 69-77.	2017（平成 29）年	白旗希実子
(報告書)					
1	山形県の「子育て 支援」関連施策の 経緯	子育て支援「業 界」の実証的研 究—新制度論に よる定量的・定 性的分析—最終 報告（科研報告 書）	ページ未 定	2018 年 3 月 (予定)	白旗希実子
2	放課後児童クラブ の設立過程と差異 化—保護者との関 係に着目して—	同上	同上	同上	白旗希実子
3	“お互い様とおか げさま”の子育て 支援—NPO法人 「明日のたね」の 活動—	同上	同上	同上	白旗希実子
4	港北区地域子育て 支援拠点「どろっ ぶ」の活動	同上	同上	同上	白旗希実子
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	英国における児童	東北教育学会	第 75 回大	2018 年 3 月	白旗希実子

	ソーシャルワーカーの初年次プログラムについての検討		会	3 日	
--	---------------------------	--	---	-----	--

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等 (必須)

日本教育社会学会 日本高等教育学会 日本産業教育学会 日本社会福祉学会
日本介護福祉学会 日本保健医療社会学会 東北教育学会 東北社会学会
山形県社会福祉士会 日本栄養改善学会 子ども社会学会

②各種学会における活動状況

東北社会学会 2007～2009 年 紀要編集委員

③学会賞等の受賞状況

2007年10月 日本産業教育学会 学会奨励賞 桐原賞

2009 年 3 月 東北大学 総長賞

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別 若手研究 B (代表者) 挑戦的萌芽研究 (分担) 基盤研究 B (分担) 奨励研究基金【日本子ども社会学会】 (分担)	1170千円 (3 年間で2,470千) 50 千円 400 千円 0 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・COC 事業 地域リーダー育成部会 部会員

氏名	小 関 久 恵
職位・系・コース	講師・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要					
1	英国の児童福祉実 践における専門職 間連携の課題	東北公益文科大 学総合研究論集	第 32 号、 pp. 69-77.	2017（平成 29）年	白旗希実子
（報告書）					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「保健医療福祉系 大学における教養 教育の問題（8）－ 我々はどこから来 たのか、我々は何者 か、我々はどこへ行 くのか－」	大学教育学会第 39 回大会ラウンドテ ーブル		2017（平成 29）6 月 9 日	小関久恵

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
大学教育学会、日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会
②各種学会における活動状況
日本社会福祉教育学会理事（事務局長）を務める（平成26年8月～）。

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・ 無		円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鳥海山・飛島ジオパーク構想 推進協議会「ジオパークを活用した持続可能な地域社会 への貢献に関する研究」（と びしま未来研究所が受託）	円
			200, 000円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 事業における地域リーダー育成部会員として鶴岡市加茂地区での聞き書き 活動や、酒田市日向地区をフィールドとする教育プログラム「プロジェクト 型応用演習」や「長期学外学修プログラム」の担当として地域課題解決に向 けた活動を展開している。

氏 名	渡 辺 伸 子
職位・系・コース	地域経営系 経営コース 講師

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1	大学生のお金に対する信念が家計管理と社会参加に果たす役割			2015	単著
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	重要他者に対する再確認傾向と役割期待および役割期待と遂行のズレの関連	筑波大学心理学研究	53, 103-111.	2017	渡辺伸子・佐藤有耕
2	お金に対する態度から捉えた大学生の職業意識	青年心理学研究	28, 87-98.	2017	単著
3	人口統計学的変数がお金に対する信念に与える影響	応用心理学研究	42, 50-51	2016	単著
4	東日本大震災における大学生の募金行動とお金に対する信念および共感性、援助規範意識の関連	応用心理学研究	40, 71-81.	2014	単著
5	大学生用お金に対する信念尺度の作成	応用心理学研究	40, 11-22.	2014	単著
6	重要他者に対する再確認傾向と気質および抑うつとの関連	パーソナリティ研究	20, 229-232.	2012	渡辺伸子・今野裕之
7	お金に対する態度に関する心理学的研究の動向	筑波大学心理学研究	40, 61-71.	2010	渡辺伸子・佐藤有耕
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					

1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	お金に対する信念の背景となるパーソナリティ—HEXACO, Big Five, Dark Triadとの関連から—	日本パーソナリティ心理学会第26回大会発表論文集	106.	2017	渡辺伸子・小塩真司

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	
日本心理学会・日本青年心理学会・日本パーソナリティ心理学会・日本応用心理学会	
②各種学会における活動状況	
2015年8月～現在まで 日本パーソナリティ心理学会 経常的研究交流委員会 委員	
2016年秋～2017年大会 日本パーソナリティ心理学会第26回大会(東北文教大学) 大会準備委員	
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別：不明	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	樋 口 恵 佳
職位・系・コース	講師 政策コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	（研究ノート）排 他的経済水域の規 律に関する各国国 内法の検討——海 洋 空 間 計 画 (Marine Spatial Planning) の観点 から——	日本海洋政策学 会誌	第 7 号	2017 年 11 月	樋口 恵佳
2	Sustainable ocean management and the role of the Japan Coast Guard	Routledge Handbook of Japanese Foreign Policy		2018 年 2 月	Miko MAEKAWA, Hiroshi TERASHIMA, Eka HIGUCHI
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	米国の海洋空間計 画からみた日本の EEZ 管理のあり方	Ocean Newsletter	417 号	2017 年 12 月 20 日	樋口恵佳
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	Capacity Building and Transfer of Marine Technology in BBNJ Process : Exploring the development of the situation during the	The 7 th Sino-Japanese Workshop on the Law of the Sea: The Conservation and Sustainable Use of Marine Biological Diversity of		2018 年 1 月 15 日（於立 命 館 大 学 ）	HIGUCHI Eka

	PrepComs	Areas beyond National Jurisdiction			
--	----------	--	--	--	--

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 国際法学会、世界法学会、日本海洋政策学会
②各種学会における活動状況 学会参加、論文投稿
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☒ 有 ・ ☐ 無	種別：2018 年 4 月に判明	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	笹川平和財団海洋政策研究 所	1, 323, 560 円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 呉先生のご紹介で、第 17 回飛島クリーンアップ作戦実行委員会(オブザーバー)、第 2 回山形県海岸漂着物対策推進委員会(オブザーバー) 出席

氏 名	齋 藤 建 児
職位・系・コース	助教・地域経営系・地域福祉コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	主体的外出場所が 主観的ウェウビー イングに与える影 響：地域一般在住 高齢者のストレス フル・ライフイベ ントの把握からの 考察	日本老年行動科 学会		3月9日投稿 済み	齋藤建児
2	医療連携型電子カ ル テ シ ス テ ム Net4U を活用した 脳卒中再発の抑制 効果	投稿先は検討中		3 月中に投 稿予定	三木潤一、齋 藤建児
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1	「地域包括ケアシ ステムによる医 療・介護費用の抑 制ーマクロ計量モ デルによる経済分 析ー」	日本医療マネジ メント学会山形 県支部学術集会 （鶴岡市）		7月15日	齋藤建児、三 木潤一、入江 啓彰

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等 (必須) 日本介護福祉情報学会正会員 日本介護福祉学会正会員 日本社会福祉学会正会員 日本老年社会化学会正会員 日本応用老年学会正会員
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	☐ 有 ☐ 無	種別：基礎研究 C	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 山形県酒田市介護予防事業における主観的ウェルビーイング等調査 山形県白鷹町 地域福祉計画、地域福祉活動計画策定アドバイザー

氏 名	松 尾 慎 太 郎
職位・系・コース	助教・地域経営系・経営コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1	公正価値監査－保 証水準の観点から －	関西学院大学		2016 年（平 成 28 年）	松尾慎太郎
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1	「第 7 章日本内部 監査協会と公認内 部監査人」（『例解 内部監査の考え方 と実務』所収）	一般社団法人日 本内部監査協会	95-105 頁	2016 年（平 成 28 年）	林隆敏・浦西 完次・浦西重 輔・島戸俊 明・芳野政 巳・堀古秀 徳・松尾慎太 郎
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	財務諸表監査にお ける保証水準の決 定要因	関西学院大学商 学研究科	第 62 巻第 3 号 101-121 頁	2015 年（平 成 27 年）	松尾慎太郎
査読無し学術論文等					
1	特になし。				
④紀要等					
1	アメリカにおける 財務情報の質的特 性の変遷：測定属 性との関連を中心 にして	関西学院大学大 学院商学研究科 研究会	第 67 号 101-118 頁	2013 年（平 成 25 年）	松尾慎太郎
2	会計監査と財務報 告保証業務：ディ スクロージャー制 度の体系化を目指 して	関西学院大学大 学院商学研究科 研究会	第 68 号 101-117 頁	2014 年（平 成 26 年）	松尾慎太郎
3	財務諸表監査にお ける保証	関西学院大学大 学院商学研究科 研究会	第 71 号 23-32 頁	2016 年（平 成 28 年）	松尾慎太郎
4	監査人の心証形成 と保証水準－裁判 官による事実認定 と証明度概念と比 較して－	東北公益文科大 学総合研究論集	第 33 号 57-74 頁	2017 年（平 成 29 年）	松尾慎太郎
⑤総説・解説等					
1	特になし。				

⑥国際会議発表論文等					
1	特になし。				
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	財務諸表監査における保証水準の決定要因	第 73 回日本会計研究学会自由論題報告		2014 年(平成 26 年)	松尾慎太郎

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須) 日本会計研究学会、アメリカ会計学会、国際会計研究学会、日本監査研究学会、関西監査研究学会。	
②各種学会における活動状況 会員。	
③学会賞等の受賞状況 特になし。	

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	⑦ 有 ・ 無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	大学まちづくり地域政策形成事業	388,000 円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
	1 件	日本内部監査協会	500,000 円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 特になし。
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし。

氏 名	バンティング ティモシー
職位・系・コース	国際教養

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	Speedy Sounds	JALT The Language Teacher	41. 3	2017年 5月	Timothy Bunting
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

① 所属学会等(必須)
JALT, Institute of New Zealand Studies,
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別：	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託	件 数	契約先名	契約金額

事業 関係	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

氏 名	唐 栄
職位・系・コース	助教・交流文化・メディア情報コース

1. 研究発表

整理 番号	論文名・著書名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁（－）	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名（共 同発表の場合 は論文等に記 載した順に本 人も含め記入）
①博士論文					
1					
②著書（翻訳含む）及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等（招待講演・学会発表等）					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等（必須）
②各種学会における活動状況
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有・無	種別：採択されなかった	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
民間	件 数	契約先名	契約金額

機関等 共同 研究	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件数	契約先名	契約金額
			円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)